
暗闇の下で。

きよん太

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

暗闇の下で。

【Nコード】

N2763I

【作者名】

きよん太

【あらすじ】

コナン達はキャンプに行く。そのとき、黒の組織が?!そしてコナンと灰原が行動したことは!? これは作者が本当に見た夢です。(一部改造あり)

Prologue 気のせい？

俺は江戸川コナン。ある薬によって、体が縮んでしまった。
今日は少年探偵団とキャンプに来ている。

『今日はキャンプ 明日もキャンプ 明後日も』

にしてもコイツら、キャンプ好きだなア。

「コーナン君？今から行くキャンプ場でめいっぱい遊ぼうね！」

「その間に事件に巻き込まれなかったらいいけどね。」

「そんなのイヤですよ。たまにはちゃんとしたキャンプを試みたいものです。」

みんなで一斉にしゃべるもんだから俺の頭がぐるっちまった。

「おい、勝手に事件作んなよ。ってあれ？」

「どうしたんですか？コナン君。」

「いや、元太の声が聞こえねーなって思ってたさ。」

「ああ、元太君なら今日はこんよ。調子が悪いといつとつたなあ……」

「そーか。」

元太が休みなんてめずらしいな……。〇〇は風邪をひかない。とも言っしな……。

まあ考えすぎだろう……。

「で！博士！今回はどこに行くの??？」

「ああ、毬澤キャンプ場じゃよ。ほら見えてきた。」

『わーい！わーい！』

「やっと着きましたね！」

「っホントだなっ！」

「空気もきれいでおいしいわね。」

その時、灰原の背筋がゾツとしているような気がした。

（なんだか、イヤな予感しない？工藤君。）

（だな、何も起こらなければいいんだけど、な）

このときは俺達も知らなかった。これから

大変なことが起こることを……

prologue 気のせい？（後書き）

どうでしたか？作者はいそがしいのであまり更新はできませんが、頑張っていききたいと思います。応援よろしくおねがいします！

「そうだね()ですね()！」

コナン達、もちろん哀もわかってはいなかった。

今、誰かがカレーに毒をいれていたことを……

第一話・時は短い・・・（後書き）

更新おくれですみません！m(_____)m
次の更新はいつになるかわかりません・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2763i/>

暗闇の下で。

2010年10月10日04時51分発行